



海外留学でよくあるお悩み

Q. コミュニティカレッジを進路先にするかで迷っています

A. コミュニティカレッジのメリットとデメリットを紹介します

詳しいアドバイス

ひと口に海外大学への進学といっても様々な選択肢があります。その中でも、日本における公立校であるコミュニティカレッジは、日本人が初めて行く先として一般的です。コミュニティカレッジで2年間勉強してから4年制大学に編入する方法は、多くの人々が挑戦している道です。

とても魅力的なルートですが、しっかり理解しないで進学すると失敗してしまうこともあります。

コミュニティカレッジ経由で4年制大学に進学するルートのメリット

【メリット1: 英語力が不十分でも入りやすい】

コミュニティカレッジが求める英語力は、TOEFL iBT 45以上、IELTS 5.0以上です。最近では英検 2級Aでも受け入れてくれる大学もあります。

日本の高校3年生の英語力平均は、TOEFL換算で34点、しかもカレッジには英語コースがあるため、多くの方にとっては英語力試験スコアがなくても留学をスタートできます。

【メリット2: 日本での成績が悪くても入れる】

コミュニティカレッジは公立なので、アメリカ人であれば誰でも入れます。これは留学生も同様で、最低限の英語力さえあれば日本の成績に関係なく入学できます。

コミュニティカレッジを経由して4年制大学に進学する場合は、コミュニティカレッジでの成績のみが合格審査の対象になります。つまり日本での成績が悪くても UCLAなどの名門大学に入るチャンスがあります。

【メリット3: 学費が4年制大学よりも安い】

年間の学費を比べると、4年制大学よりもコミュニティカレッジの方が安価です。

州によっても異なりますが、コミュニティカレッジの学費は年間で大体 5,000~10,000ドル。日本の大学とそれ程変わりません。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にも提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © 留學情報館 All Right Reserved





海外留学でよくあるお悩み

現地で留学を始めてから分かる3つの落とし穴デメリット

メリットが大きいのは事実ですが、現地に来てから分かるようなデメリットも存在します。

【デメリット1: 良い成績をとるのは簡単ではない】

カレッジはアメリカ人であれば誰でも行けるため、必ずしも真面目な生徒ばかりではありません。勉強熱心でないアメリカ人ばかりの大学を選んでしまうと、その影響を受けてしまい、結果として4年制大学への進学に必要な成績を取れずに編入に失敗してしまうのです。特にコミュニティカレッジでは、学習進捗や進路、履修すべき単位についてのサポートはほぼありません。だからこそ自制心が大事になります。カレッジも学校によって全然雰囲気異なりますので、「富裕者層の集まる落ち着いた学区」を選びましょう。

【デメリット2: 留学先の都市選びによっては生活費が高い】

例えば、ロサンゼルスは生活費は家賃だけでも東京の1.8倍。場所によってはとにかく物価が高いです。日本人に人気のニューヨークやロサンゼルスは生活費が高くなりますので、費用重視であれば物価の安いエリアを選びましょう。

【デメリット3: 卒業までの期間を計算すると時間とお金がかかる】

とりあえず現地の語学学校やカレッジの語学コースから渡米する場合、卒業までには思っているよりも時間がかかることを覚悟しておく必要があります。実際、英語力ゼロからのスタートで、卒業するまでに4年間で出来た人はそれほど多くはありません。例えば英語補修クラスを終えるのに半年～9か月、カレッジを修了するのに2年から3年、その後4年制大学を2年で履修、といった形で、合計5年以上かかるケースも少なくありません。当然その分滞在費・生活費はかかりますので、安い授業料といえど留学費用は大きくなってしまいます。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。© 留游学情報館 All Right Reserved

